

耳鼻咽喉科領域疾患全般に対応し

東総地域・茨城県南部から
外房方面まで広範囲でカバー

耳鼻咽喉科

成田赤十字病院耳鼻咽喉科は小児から高齢者までの耳鼻咽喉科領域疾患全般に対応し、手術数も年間300～400例（中耳手術50例以上を含む）と豊富な実績があります。

千葉県内では耳鼻咽喉科の入院・手術を行う病院が減少しているため、当科は東総地域・茨城県南部から外房方面までのかなり広い範囲をカバーしているのが現状です。そのため外来診療は完全紹介制とさせていただき、緊急入院や手術が必要な症例、悪性疾患（癌）を中心に診療しています。加えて当院は3次救急救命センターを有し地域の救急医療の要であるため、耳鼻咽喉科も重症感染症・外傷・異物・突発性難聴・顔面神経麻痺など緊急入院数が多いのも特色のひとつです。輸血を必要とするような重篤な鼻出血も年に数例経験しています。

非常に多忙な勤務状況ですが、毎年全国学会を含め年に数回の学会発表を続けています。学会の動向や新しい治療法などをチェックすることは当然ですが、最新の情報を発信することにより自分たちの診療レベルを客観的に検証する姿勢を保てると考えているからです。



第一耳鼻咽喉科部長

根本 俊光

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医

01 研修期間

一年単位。専門医取得まで3年程度まで延長可。

02 目的

- (1) 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医取得に向けた研修に沿う(2017年改定プログラムに対応)
- ・がん治療認定医(日本がん治療認定医機構)・内分泌外科専門医(日本内分泌外科学会)
- 上記取得に向けた研修も同時に行える。(頭頸部がん専門医 準認定施設、甲状腺外科専門医 研修関連施設)

03 研修システムの特徴

2年以上の研修期間の場合、近隣の医療機関と連携して一定期間出向し、より専門性が高く、ムラのない研修を計画することも出来る。

04 代表的な週間スケジュール (定期的に行なわれている検査を含む)

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	手術	外来	病棟手術
午後	検査手術	検査	手術	検査	手術
PM3時から		細胞診	病棟カンファ	細胞診	

05 研修期間中に経験する病態、疾患

一般的な症例から悪性腫瘍、救急疾患(気道閉塞・扁桃周囲膿瘍・鼻出血など)まで幅広く経験する。外来は完全紹介制をとっている。

06 研修期間中に経験する疾患

一年間で50～70例の中耳手術をはじめ、悪性腫瘍の遊離再建まで約300～400件の手術を常勤医4名で行っている。また頭頸部がんに対する分子標的薬治療、甲状腺分化癌に対する外来アブレーションなど積極的に施行している。

07 研修期間中に習得すべき手技

一般的手技から手術、緊急対応まで、日本耳鼻咽喉科学会の定める項目を網羅する。

08 研修修了後の進路について

- 専門医取得以前であれば、本人が選択した次研修病院へ行くことが可能。
- 当院在籍中に専門医を取得した場合、引き続き当院の常勤医として臨床に携わることも出来る。
- 学術的研究や海外留学に興味があれば、千葉大学大学院への入学等について相談に応じる。